

2018年9月4日
株式会社東陽テクニカ

世界唯一！ 100ギガビットイーサネットのフルキャプチャを支えるコア技術
大容量ポケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」に搭載の
高速データ書き込み技術で特許を取得

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、100ギガビットでも全てのパケットをロスせず連続してキャプチャできる大容量ポケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」に搭載のコア技術“データ書き込み装置及び方法”で特許を取得いたしました。

これは、ソフトウェアで並列書き込みとロードバランスを実行する技術で、取得したデータを複数の内部記憶装置へ書き込む際のプロセスをコントロールすることにより、専用の装置を別途用いなくても、書き込み性能低下の問題を解決し、100%のキャプチャを可能にする技術です。

今回の特許取得を契機にさらに「SYNESIS」の世界展開を加速させるとともに、今後も高速大容量化がすすむネットワークにおいて速やかな障害解析と高品質ネットワークの実現に貢献してまいります。

IoTの普及によりネットワークに接続されるデバイスの増加、膨大なデータを利用するビッグデータ解析の進展、5Gの商用サービス開始など、今後ますますネットワークは高速大容量になることが予測されています。それに伴い、専用のポケットキャプチャ装置の需要も高まると見られます。

しかし、現行のポケットキャプチャ装置に使用されている記憶装置の多くは、時間的に書き込み性能が変化するため、長時間安定した書き込みを実現できないという問題があります。このような性能低下を解決するためには、アクセス負荷管理装置など専用の装置が必要で、追加費用がかかります。



大容量ポケットキャプチャ/解析システム
「SYNESIS」ポータブル型・100Gモデル

当社は、キャプチャしたパケットデータを記憶装置に書き込んで保存する際に、別装置を用いずにソフトウェアで、「並列書き込み」と「ロードバランス」を実行して取得したデータを複数の内部記憶装置へ書き込むプロセスをコントロールすることによって、性能低下の問題を解決し100%キャプチャできることを発見し開発を行いました。並列書き込みとは、個々の記憶装置毎に書き込み処理を並列化して実行することであり、ロードバランスはある記憶装置で書き込み性能が低下した際に、書き込み性能が高い記憶装置を選んで次のデータを割り振る処理を言いま

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジー・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL：03-3245-1250（直通）

E-mail：synesis-sales@toyo.co.jp

「SYNESIS」ポータルサイト：<https://www.synesis.tech/>

「SYNESIS」紹介動画：<https://www.youtube.com/watch?v=P4mybA60nGo>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。